

六地藏と矢立の墓地林

かつて矢立地区の死者は風葬に付されていました。これは、屋外に遺体を置いて、鳥や野生生物に亡骸を自然に返させる葬送の慣習です。葬列はこの石台に来て祈りを唱えながら、六地藏の像を囲みました。葬儀の間、遺体は地藏たちの前の平たい岩の上に置かれました。

六地藏とはいっても、実際には七体の地藏があることに気づく人もいるでしょう。一番大きい地藏は他のより小さい六体のリーダーとされており、数には含まれていません。

最も近くにある町石は 59 町石です。